

今回この問題に関しては、仙人のわしが解決するのでしょうか。この問題は、経済学で使われる機会費用という考え方で解決しようとするかの。機会費用とはのう、何か一つの目的を行った時にあきらめた最高のもの、ということなんじゃ。ここでは、遠距離で付き合う時にあきらめたものが機会費用じゃな。

一般に、恋愛の機会費用というのは、その人とつきあわなければできたであろう最高のことじゃから、他の人とつきあったり、デートで使う時間やお金を自分の趣味に使ったりということじゃな。もちろん、それは人によってちがうぞよ。でも、遠距離恋愛は、近距離の恋愛と較べて機会費用は高いぞ。遠距離恋愛をすれば、交通費がかかるじゃろう。仮に東京と大阪の間で遠距離恋愛を行う場合には、月に一回会いに行くとして新幹線で行ったとするとじゃ、なんと！、往復で約30000円もの費用がかかるんじゃ。高いのう。それに加えて今の時代、電話代もかかるんじゃ。よって、近距離の恋愛にはかかることのない費用がおよそ30000円～50000円ほどかかることになるんじゃ。そんなお金があったら、いろんなことができそうじゃのう。それにじゃ、相手の浮気を監視する費用だって高くなるんじゃないかの？ちがうかな。経済学ではこういう監視の費用のことをモニタリングコストというのじゃが、このコストもばかにならんぞ。つまり、遠距離は近距離の時よりぐーんと恋愛費用が高くなるんじゃ。

遠距離だとたまにしか会えぬから、彼の言うように、会ったときに得られる効用（高揚）は高いかも知れぬな。でも、その効用はずっと費用を上回りつづけるじゃろうか。遠距離恋愛が浮気を生みやすく、破綻しやすいのは、恋愛の機会費用が高いからなんじゃよ。みずずさんよ、彼への思いが強ければつきあい続けるのはよいがの、長距離恋愛の費用が高いことを知っておかねばならんぞ。いやいや、あんたは大丈夫かもしれん。問題は、その高い恋愛費用を、あんたのかれも払っておるとのことじゃ。彼はその費用を支払い続けられるかのう。他の女性とつきあうのをあきらめた上に、まだ大きな費用があるのじゃぞ。大丈夫かの、ホ、ホ、ホ。